

# 令和3年度学校関係者評価

専門学校中央医療健康大学校 スポーツ柔整学科・柔整健康学科

## 令和3年度学校関係者評価委員

### ■保護者

スポーツ柔整学科2年生午後部 小柳津亜柚の保護者

### ■企業関係者

井谷陽介 先生

### ■他校関係者（卒業生）

石橋俊樹 先生

## 1. 教育理念・目標

【自己評価結果】		平均
1	教育理念並びに教育目標が明確に示されているか。	A
2	教育目標は卒業時の到達が読み取れるものになっているか。	A
3	教育理念並びに教育目標が教職員・学生に浸透しているか。	A
4	組織での目標設定が適切にされ、実行できたか。	A
5	鈴木学園クレドは教職員に浸透し、実践されているか。	A

### 【現状の問題点】

全体的に改善されている。より一層の浸透に努めたい。

### 【改善のための方策】

学生に教員理念並びに教育目標が浸透されていないので、週1回読み合わせの時間をつくる。また教室に掲示して学生の目に付くようにする。設問4ではBSCの活用が重要だと思われるので来年度BSCをしっかり活用できるような場も設けていきたい。

### 【関係者評価】

特になし

2. 学校運営		平均
【自己評価結果】		
5	目標を達成するための事業計画が策定されているか	A
6	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか。	A
7	情報システム化等による業務の効率化が図られているか。	A
8	就業規則などの諸規定は適切に整備されているか。	A
9	組織内の連携は適切に図られているか。	A
10	上司の指示は適切にされているか	A
11	上司は提案を受け入れてくれているか	A
12	職場内での教職員教育・指導は充分なされているか。	A
13	BSCは適切に活用されているか。	A
【現状の問題点】		
かなり改善されてきている。設問13も改善されているが更に高評価となるようにしたい。		
【改善のための方策】		
BSCをしっかりと活用するために月末に個人目標と組織目標を振り返り提出する。それにより設問4も改善されていくと思われる。		
【関係者評価】		
特になし		

3. 教育活動		
【自己評価結果】		平均
14	授業評価の実施・評価体制はあるか	A
15	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	A
16	資格試験の合格率は他校と比較して妥当か。	A
17	資格試験の不合格者の対策は適切に行われているか。	A
18	関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	A
19	目標に到達しない学生には対し適切なフォローがなされているか。	A
20	職員の能力開発のために研修等を実施若しくは派遣しているか	A
20	シラバスは十分に検討し作成されていたか。	A
21	シラバスの内容見直しについて教員間で検討されていたか。	A
22	教務の問題について、組織内で適切に話し合われているか	A
23	十分に余裕を持って教育行事の準備が来ているか。	B
24	学生による学校評価を反省し、事後の教務を改善しているか。	A
【現状の問題点】		
教育活動は改善されていることが教育の質の向上につながっている。今後も改善に努めたい。		
【改善のための方策】		
資格試験の不合格者の対策は面談を密に行い、学校に登校するように指導していく。また登校できない卒業生はオンラインを検討していく。研修に関してはコロナの影響で実施されるものが少なかったため来年度は予定されている研修には参加していきたい。また設問23ではコロナの影響により突然予定が変更されることが多かったため評価が低くなったと思われる。		
【関係者評価】		
さらなる不合格者への対応が必要と考えられる。具体的には不合格者が不合格になった理由をしっかりと分析し、今後どういった行動をとる必要があるのかを詳細に順序だてる必要があると思われる。		

4. 学修成果		
【自己評価結果】		平均
26	就職率の向上が図られているか	A
27	退学率の低減が図られているか	A
【現状の問題点】		
特に問題はないと思われる。		
【改善のための方策】		
希望就職率は100%、退学率も低減されてきている。このまま継続できるようにしていきたい。		
【関係者評価】		
特になし		

5. 学生生活支援		
【自己評価結果】		平均
28	学生相談、カウンセリングに関する体制が整備・機能しているか。	B
28	各学校行事について、適切な事後反省を行い次回に活かしているか。	A
29	防犯・防災訓練の実施・防災計画の作成等、不法侵入・災害に対する整備は万全か。	B
30	進路活動に関する支援が整備され、機能しているか。	A
31	中途退学の理由、実状を適切に把握し、教職員で共有しているか。	A
【現状の問題点】		
全体的に改善された。設問28についてはカウンセリングのあることの周知を進めるなど改善を検討したい。		
【改善のための方策】		
設問29では来年度から防災訓練の実施方法の変更、セキュリティの強化がなされるためさらに改善されていくと思われる。設問28ではカウンセリングの周知もそうだが、学生が相談しやすい環境をつくるのも大事だと思われるので、学科教員の中で相談しやすい雰囲気作りができるようにしていきたい。		
【関係者評価】		
カウンセリングスキルを常勤教員自体も上げていく必要があると思われる。		

6. 教育環境		
【自己評価結果】		平均
33	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	B
【現状の問題点】		
機器等の整備計画を5年計画ぐらいで立てる中で、整備に努めるようにしたい。		
【改善のための方策】		
5年計画の中で必要な設備機器等を計画を立てながら行っている。このまま継続して実施していきたい。		
【関係者評価】		
特になし		

7. 学生の受け入れ募集		
【自己評価結果】		平均
34	学生募集のための広報資料の表現・内容並びに広報活動の方法、時期は適切か。	A
34	入学案内(パンフレット)には志願者が必要とする情報が掲載されているか。	A
35	体験入学の時期、回数、内容は適切か。	A
36	入学者選抜の時期、方針、方法は適切か。	A
【現状の問題点】		
学生募集は順調であった。		
【改善のための方策】		
学生募集は順調であったため来年度も継続的に行っていきたい。また広報活動が方法が少し変更されるため今年度と同じような結果が出せるようにしていきたい。		
【関係者評価】		
卒業生：自分の住んでいる地域の高校の近くの電柱には他校医療系専門学校の広告が掲示されており、高校周辺での広告強化をしているように感じた。が、今後SNSも広報の材料として重要な役割をになってくるであろうと思われるのでいいのではないか。		
8. 財務		
【自己評価結果】		平均
38	・中長期的に所属学科の学費納入基盤は安定しているといえるか	A
39	・学科で策定した予算・収支計画・執行は有効かつ妥当なものになっているか	A
【現状の問題点】		
特に問題はなかった。		
【改善のための方策】		
今後も継続的に行っていきたい。		
【関係者評価】		
特になし		

9. 法令等の遵守		
【自己評価結果】		平均
40	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	A
40	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	A
41	個人情報保護法を遵守しているか。	A
42	各種ハラスメントに対する防止・対応策が整備されているか。	B
【現状の問題点】		
特に問題はなかったが、ハラスメントについては意識も年々変わっていくので勉強に努めていく必要がある。		
【改善のための方策】		
設問42に関しては年々意識が変わってくるので勉強していなければならないと思われる。また無意識にハラスメントと思わせるような発言があるかもしれないので気を付けていきたいと思う。		
【関係者評価】		
ハラスメントに関しては年々シビアになっており、治療現場でも声掛けや同意には細心の注意をはらっている。学校でも細心の注意をはらう必要があると考えられる。また、ハラスメントは信頼関係の上で起こるか起こらないかも大きく変わり個々人の価値観によっても違う。よって、世間とのつながりを持ち、情勢の理解を怠ってはいけないと考えられる。		